

平成 28 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ガーラ
代表者名 代表取締役グループ CEO 菊川 暁
(JASDAQ・コード 4777)
問合せ先 グループ戦略部 部長
ジョーシ・ガブリエレ
(代表 TEL 03-5778-0321)

当社株式の「業績」に係る猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成 25 年 3 月期から平成 28 年 3 月期までの 4 期連続して営業利益及び営業キャッシュ・フローの額がマイナスの状態となったことから、有価証券上場規程第 604 条の 2 第 1 項第 2 号に定める上場廃止基準に係る猶予期間入りしたことが株式会社東京証券取引所より発表されましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、これにより当社は、平成 29 年 3 月期に営業利益及び営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は、上場廃止となります。

記

1. 上場廃止に係る猶予期間入りに至った経緯

当社はオンラインゲーム事業において、欧米での売上高の減少、韓国での開発コスト削減や南米子会社の採算改善が進まなかった結果、平成 25 年 2 月にオンラインゲーム事業を主力とした連結子会社 3 社【Gala-Net Inc.、(米国)、Gala Networks Europe Ltd. (アイルランド) 及び Gala-Net Brazil Ltd. (ブラジル)】の株式を譲渡し、その譲渡代金を元に新規事業としてスマートフォンアプリ事業を立ち上げ、業績の改善に努めてまいりました。

しかしながら、平成 27 年 3 月期にサービス提供を開始しましたスマートフォンゲームアプリ「Flyff All Stars」(フリフオールスターズ)の認知度を向上させることを中心にプロモーションを積極的に展開しましたが、ダウンロード数や売上高は開始後の初月は概ね順調に推移したものの、それ以降は低調な推移となり、売上高の増加及び収益改善には至りませんでした。

加えて、オンラインゲーム事業のアイテム販売やロイヤリティ収入の減少傾向が継続しており、売上高が想定より減少いたしました。このような状況により 4 期連続して営業利益及び営業キャッシュ・フローにおいて、マイナスを計上することとなりました。

2. 猶予期間

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

3. 今後の見通し

当社は、営業損益につきましては、前事業年度まで 5 期連続で営業損失を計上し、営業キャッシュ・フローにつきましては 4 期連続でマイナスを計上しております。こうした現状を踏まえ当社は、黒字経営に変容することを最重要課題と位置付けており具体的には、平成 29 年 3 月期においては、次のとおりの施策を予定しております。

- 1) ゲームアプリ「Arcane」iOS の英語版サービス開始・収益確保
- 2) ゲームアプリ「Arcane」日本語版を今夏にサービス開始・収益確保
- 3) ゲームアプリ「Arcane」欧州地域、東南アジア地域等、現地言語でのサービス提供・収益確保
- 4) その他ソーシャルアプリの速やかな提供開始

なお、ゲームアプリ「Arcane」Android 英語版については、5月18日付及び5月25日付リリースの通り、オーストラリア、ニュージーランド、米国、カナダ、その他英語圏にて配信を開始しており、「Arcane」iOS 英語版についても現在準備を進めております。

「Arcane」日本語版につきましては2016年6月9日に事前登録を開始し、事前登録キャンペーンとして特典アイテムプレゼントキャンペーン等を実施し、ユーザー様獲得、及び収益確保にむけ現在今夏にサービス提供開始できるよう準備中です。

また、3) ゲームアプリ「Arcane」欧州地域、東南アジア地域等、現地言語でのサービス提供については、1) ゲームアプリ「Arcane」iOSの英語版、2) ゲームアプリ「Arcane」日本語版の売上の結果により展開を判断いたします。

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業におけるアプリの開発やダウンロード配信が予定通りに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予想が極めて困難であり、又オンラインゲーム事業における既存タイトルのバージョンアップによる収益予想が極めて困難であることから平成29年3月期の業績予想の公表を差し控えさせていただきます。

当社は、コスト削減を徹底し、当該アプリによる売上高の増加、業績及び営業キャッシュ・フローの改善を計画し猶予期間内の指定解除を目指します。

この度、株主様はじめ関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけいたして深くお詫び申し上げます。

以上